



北海道通信社記事

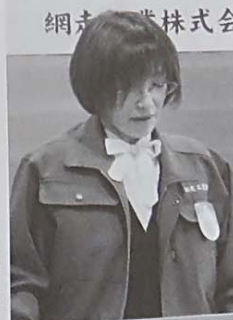
網走工業が安全衛生大会開く

安全は日々の積み重ね  
職場からの事故根絶誓う

【網走発】網走工業(株) (網走、中山寿恵社長) は十七日、網走市内のオホーツク・文化交流センターで二十八年度安全衛生大会(雇入れ時安全衛生教育)を開催した。あいさつに立った中山社長は「安全に近道はなく、積み重ねが重要。強い決意と意欲をもって労災・交通事故の絶滅に努めてほしい」と述べ、職場からの事故根絶を呼びかけた写真。

本年度の安全衛生管理の基本方針として、①三大災害撲滅運動の推進②新規入場者教育・リスクアセスメントの完全実施③交通労働災害の防止の三点を最重

点目標に設定した。当日は、福井雅彦専務の開会宣言に続いて、ことし四月一日付で代表取締役役に就任した中山社長があいさつ。「責務の重大さを痛感している。微力ながら精一杯務めさせていたたく」と決意を述べた上で、労働安全について言及し、「各現場は条件が違い、働く我々も同じ体調の日はない。きちんと現場の点検をし、繰り返し改善を行い、各自が健康管理に努め、不安全行動をなくすことが重要」と強調。「ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハットをなくし、安全祈願



くし、安全管理の取組を徹底してほしい。安全に近道はなく、積み重ねが重要。強い決意と意欲をもって労災・交通事故の絶滅に努めてほしい」と呼びかけた。このあと、網走警察署の牧野精幸交通課長が交通安全について、日本キャタピラー北海道支店の亀谷和正網走出張所長が建設機械についてそれぞれ講話した。最後に、従業員を代表して山崎宏晃氏が決意宣言。労働災害を未然に防止し、死亡・休業、公衆災害のゼロを目指すことを参加者全員で誓い合った。

出雲大社にて  
安全祈願

